

基礎の形状を設定する方法【矩計図】


文書管理番号：1274-01


Q. 質問

矩計図で、基礎の形状が布基礎になるのでベタ基礎にしたい。

基礎伏図ではベタ基礎にしているのに、矩計図では布基礎になっている。

A. 回答

 (矩計図)を作成する際、基礎の形状は、自動生成部材の画面で設定できます。

自動生成部材は、 (自動生成)をクリック、または「設定」⇒「矩計図図面設定」⇒「自動生成」をクリックして、表示してください。



自動生成部材

☒ 指定部材
☐ 伏図連動

基礎 床 壁 天井 小屋 屋根 文字 寸法情報 断熱材

☒ 基礎自動

タイプ: ベタ基礎 [設定(S)...]

☐ 東石 幅: 150 mm 天端高さ: 200 + GL mm
 高さ: 200 mm 地盤厚: 50 mm
 ピッチ: 910 mm

☒ 土間コンクリート 厚み: 100 mm

☒ 床下換気

☐ 床下換気口 高さ: 200 mm
☒ 基礎パッキン 厚み: 20 mm 幅: 100 mm

☒ 金物(アンカーボルト)

☒ 床下盛土 天端高さ: 50 + GL mm
☐ 床下防湿コンクリート 厚み: 100 mm 天端高さ: 50 + GL mm
☒ GLライン

☐ 基礎断熱

☐ 基礎内側 厚み: 50 mm
☒ 基礎外側 厚み: 50 mm 断熱材: パネン2
☐ 建物外周部 厚み: 50 mm 断熱材長さ: 500 mm

OK キャンセル ヘルプ(H)

矩計図の作成方法には、自動生成部材の設定に基づいて作成する「指定部材」と、伏図データの入力に基づいて作成する「伏図連動」があります。

● 指定部材

「指定部材」を選択した場合、自動生成部材の設定内容が矩計図に反映します。

基礎の種類は「基礎」タブの「基礎自動」にチェックをつけ、タイプから選択してください。

また、「設定」から基礎の幅などの寸法設定が可能です。



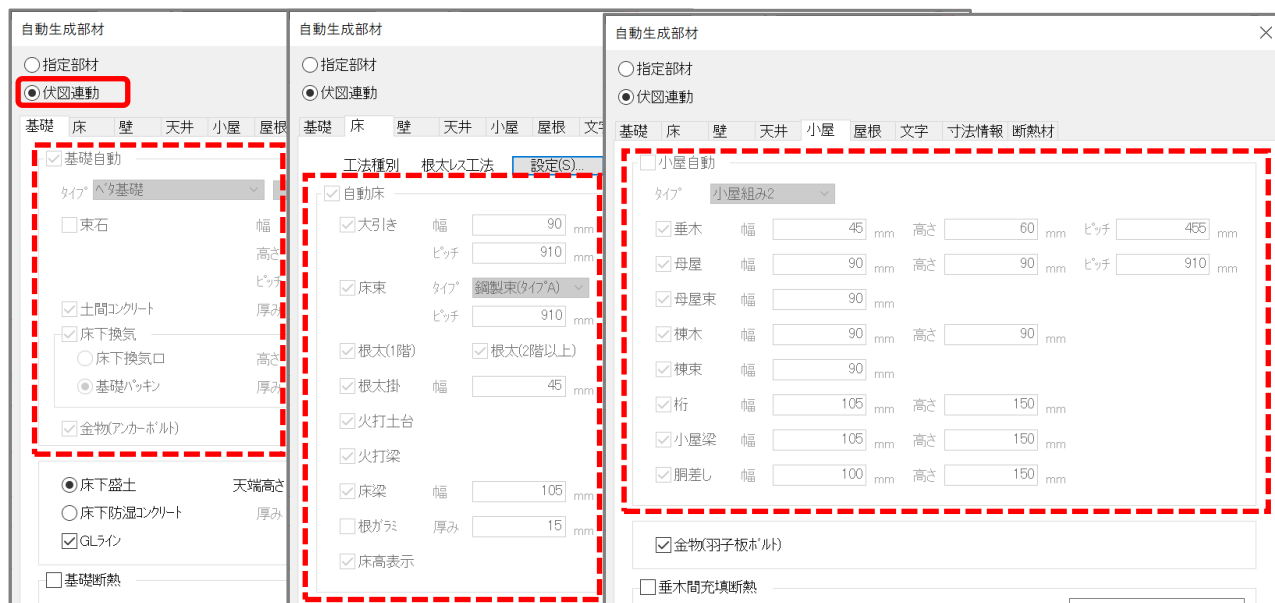
● 伏図連動

「伏図連動」を選択した場合、小屋伏図・床伏図・基礎伏図で入力した部材を矩計図に反映します。


伏図を入力していない場合は、グレー化して選択できません。

また、「伏図連動」を選択した場合、「基礎」タブの「基礎自動」、「床」タブの「自動床」、「小屋」タブの「小屋自動」はグレー化し、自動生成は行われません。

伏図連動を利用する場合は各伏図すべての入力を行ってください。



【参考】基礎の高さ

基礎の高さは、 (高さ設定) で設定する 1 階階基準（GL から土台天端までの高さ）から土台の高さ、基礎パッキンの厚みを差し引いた数値で設定されます。

指定部材で矩計図を作成する場合は、土台の高さ、基礎パッキンの厚みを自動生成部材の設定画面で確認・変更します。

伏図連動で矩計図を作成する場合は、土台の高さは床伏図、基礎パッキンは基礎伏図の画面で確認・変更します。

詳しくはこちらをご覧ください。

[\[1273\] 基礎の立ち上がり高さの設定【矩計図】](#)

[\[1191\] 基礎の立ち上がり高さの設定【基礎伏図】](#)